

# 事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日)

公益財団法人岩佐教育記念財団

## 概況

今期において奨学育英事業の支給対象範囲の拡大に合わせた募集活動を開始したが、依然として新規奨学生応募には至らない状況が継続したため、本格的に募集方法の改善および当財団の奨学育英事業を運営する人員の増員を検討し、各大学奨学生課、学生課への呼びかけを積極的に行った上でホームページ上での募集を実施したところ、多数の応募があり、2022年4月1日から開始する事業年度においては、当財団が一般財団法人として設立して以来最多の奨学生に対して最大の奨学金給付を行うことができる目途が立った。

これとともに税理法人と顧問契約を締結し、奨学育英事業を拡大するとともに、新規事業の開始による一層の社会貢献活動の拡大を計画し、同じく2022年4月1日から開始する事業年度において新たに2つの新規公益事業をスタートさせる順義が整った。

懸案であった職員の増強についても、奨学育英事業のみならず新規公益事業についても十分な人員を当財団として確保できる体制を整備した。

## 公益事業の状況

今期中の奨学金の給付は実現しなかったが、来期から上記概況の通り、従来を上回る規模の奨学育英事業を実施する準備を整えた。

併せて2つの新規公益事業についてもスタートする準備を整えた。

以上